

第 1 回 製紙4社によるエタノール／SAF を出口とする検討会

議事次第

[第 1 回 検討会 開催概要]

日時	2026 年5月26日(火) 13時30分～15時30分 (第 1 回検討会)
場所	NEDO 霞が関オフィス (〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 20 階)

[背景・目的]

バイオものづくりは、化学品・素材・繊維・燃料など多様な産業領域での活用が見込まれており、従来の化石資源を原料とした様々な製造プロセスを置き換える「持続可能なものづくり」として、次世代の産業基盤となり、我が国の競争力の核となり得ることが期待されている。NEDO では、多様な原料と多様な製品を出口としたバイオものづくりのバリューチェーンの構築に必要な技術開発や社会システム実証を行い、バイオを活用したものづくりプロセスへの転換とそれらプロセスを通じて生み出される製品の社会実装を推進し、ひいては我が国の産業競争力の強化と社会課題解決を目指して「バイオものづくり革命推進事業」を進めている。

木質バイオマスは、バイオものづくりにおける原料として、賦存量や炭素排出量、サーキュラーエコノミーの実現などの観点からその活用が期待されており、中でも、木質バイオマスを原料とするバイオエタノールや持続可能な航空燃料(SAF)は脱炭素社会の実現に資する燃料の1つとして普及が大きく期待されている。その一方で、木質バイオマスを原料とするバイオエタノールや持続可能な航空燃料(SAF)は、既存燃料と比較して一般的にコストが高いという課題や CORSIA 認証適合に向けた課題など、社会実装に向けて乗り越えるべき課題がある。

そこで、木質バイオマスを原料とするバイオエタノール／持続可能な航空燃料(SAF)の社会実装に向けて、多角的な視点での価値訴求を行うとともに、CORSIA 認証適合に向けて必要な調査・を行うとともに、調査結果の進捗共有等を目的とする検討会を開催する。

[検討テーマ]

- (1) 木質バイオマスを原料とするバイオエタノールの価値訴求に向けた検討
- (2) CORSIA 認証適合に向けた検討

[開催頻度]

- ・ 2か月に一回程度、対面を原則としつつオンライン(Teams)も併用
- ・ 開催場所は NEDO 分室(大同生命霞が関ビル)

[第 1 回 検討会進行表]

項目	発表者	時間		内容
				名刺交換
①	経産省バイオ課	13:30 13:40	10 分	(仮)バイオものづくり／バイオエタノールを取り巻く政策的状況
②	調査(1) 木質バイオマスを原料とするエタノール/SAF・その他出口の価値訴求に向けた調査・検討			
	大興製紙(株)	13:40 13:45	5 分	製紙4社より事業内容等のご紹介
	大王製紙(株)	13:45 13:50	5 分	
	日本製紙(株)	13:50 13:55	5 分	
	王子 HD(株)	13:55 14:00	5 分	
	みずほ銀行	14:00 14:10	10 分	木質バイオマスを原料とするバイオエタノールの価値訴求に向けた検討ポイント
	質疑等	14:10 14:40	35 分	質疑及び議論
	三菱総研	14:40 14:55	15 分	今後の調査の進め方について
③	調査(2) CORSIA 認証適合に向けた調査・検討			
	三菱総研	14:55 15:05	10 分	令和6年度/令和7年度調査事業結果の概要紹介
	質疑等	15:05 15:20	15 分	質疑及び議論
④	三菱総研	15:20 15:30	5分	今度の進め方・閉会挨拶

[第 1 回 検討会参加者情報（敬称略）]

区分	所属	役職	氏名
委員長	千葉大学	名誉教授	関 実
委員	日本製紙連合会	常務理事	原田 隆行
委員	株式会社みずほ銀行	産業調査部 部長	武藤 真
委員	大興製紙株式会社		
委員	大王製紙株式会社		
委員	日本製紙株式会社		
委員	王子ホールディングス株式会社		
オブザーバー	経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ 生物化学産業課		
オブザーバー	経済産業省 製造産業局 素材産業課		
オブザーバー	経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料供給基盤整備課		
オブザーバー	国土交通省 航空局 カーボンニュートラル推進室		
オブザーバー	農水省 林野庁 林政部 木材利用課		
事務局	NEDO バイオ・材料部 バイオものづくり室		
調査受託者	株式会社三菱総合研究所		

以上